

主な活動の紹介

【活動事例1】柳井小・柳東小・柳井中合同研修会

3校の教育的な課題を共有し、その解決をめざした協議や専門的知識の習得とともに、9年間を見通した指導体制の確立をめざして、3校の教職員による研修会を夏季休業中に開催しました。全体会では市教委指導主事による「学びのサイクル」、分科会では特別支援教育部、教科指導部に分かれて研修・情報交換を行いました。

【活動事例2】「しらかべネット子ども会・子ども塾」の開催

柳井中学校区の子ども会リーダーの6年生を対象にして、年2回（8月、12月）開催しました。「しらかべネット」統括コーディネーター、市教委社会教育主事、小・中学校の教員が指導者となり、自己紹介や仲間づくりゲームを行いました。各子ども会によって、参加者数にばらつきがありましたが、様々なエクササイズを通して、人間関係を深めることができました。これから柳井中学校に進学する子どもたちが、仲間意識をもち、顔なじみになることによって、中1ギャップの解消につながったり、子ども会活動が活発になったりするなど、意義のある活動として位置付けました。

【活動事例3】「しらかべ学遊館放課後子ども教室 夏休み勉強会」へのサポート参加

昨年度から実施している勉強会に、指導者の一員として、退職教員、高校生とともに柳井中学校の生徒14人が参加しました。指導にあたった中学生は、小学生に教えることの難しさと学ぶことの重要性を感じ取っていました。

【活動事例4】「花」を通じた地域との絆きずなづくり

多くの学校が学校育苗ボランティア制度を利用し、花づくりに取り組みました。これは、やまぐちフラワーランドや山口県花き振興センターと連携した事業です。花の種と育苗資材の提供を受けた学校が、育てた苗を自校の花壇に植えたり、地域の公共施設などで活用してもらったりしました。



「しらかべネット」子ども会・子ども塾



夏休み勉強会

成果と課題

小・中合同研修会では、小学校教員が中学校のめざす生徒像や教育活動、学校の現状を知ることができ、小学校6年間を見通した学年段階に応じた指導の必要性を認識しました。このことが、義務教育9年間のなめらかなつながりになるものと確信しました。

本研修会を次年度以降、柳井小・柳東小だけでなく、柳井中学校区内全小学校に広げ、「子どもの元気創造」「学びの基礎・基本」「地域連携の促進」の3つの視点で小小連携・小中連携を深めていく予定です。

花を通じた地域との絆きずなづくりでは、学校育苗ボランティア制度を活用する学校が年々増えています。今後も、花づくりを通して学校支援ボランティアとふれあいを深め、育てた花を通して地域との交流を広げていきたいと考えています。

今後の取組

これから上記3つの視点での小小連携・小中連携を推進していくにあたり、各校での取組体制の確立が急務となります。また、学校間だけでなく、各学校運営協議会相互のつながりを深めるために、「しらかべネット」の組織の見直しや、学校支援ボランティアを中心とした地域の方々の支援体制の再編成に向けて取り組んでいく予定です。